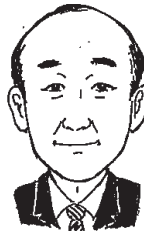


町民が他市町に持つ農地の
幹旋について

質問 眞島議員



現在、農業者の高齢化、さらには後継者不足により本町でも年々離農者が増え、直近3年間で13件減少しており、他の市町においても同様の現象が出ているのではないのでしょうか。

そこで市町界を越えての農地の幹旋についてですが、本町の農業者が他市町に農地を所有し、個々の事情により売買、賃貸が発生した場合、特に他市町との境界にある農地と接する土地の本町の耕作者も多数おられるかと思えます。

境界を越えての幹旋時には、将来を見据えて、地主の意向、隣地の耕作者の状況も考慮し幹旋をしてはいかがかと思いますが農業委員会会長の考えを伺います。

答弁 吉田会長

農業者の高齢化、後継者

不足は本町のみならず全国的な問題であり、近年本町も離農が増え、農地の売買、賃貸が増加しているのが現状です。

市町の境界を越える農地の幹旋調整については、農地法の改正等がある中、近隣市町農業委員会との申し合わせにより調整が執り行われます。

市町の境界を越えた農地の幹旋に関し、地主の意向、隣地等の耕作者の状況を考慮した幹旋調整も重要と考えますが、農業委員会としては、市町の境界を越える越えないにかかわらず、今後の農業を支える担い手への農地集積集約化を一番に考え、幹旋調整に取り組んでまいりたいと考えております。

若年層向けの雇用対策を

質問 前田議員



働き盛りの若年世代を本町に呼び込むには、働きや

すい雇用環境の確保が大事だと考えます。他の自治体では様々な取り組みにより成果を上げております。本町では65歳以上の人口比率が46%を超えており介護従事者の不足が懸念されておりますが、今後本町での雇用拡大に向けて、どの様に対策を講じようと考えているのか町長の考えを伺います。

答弁 澁谷町長

本町が活力に溢れ持続的なまちづくりを実現していくには、人口減少の抑制、労働人口確保が、極めて重要であると考えております。本町の人口確保対策として、子育て支援策では、医療費の無償化などや、移住・定住策としての補助などの様々な情報をホームページ等により発信しています。

また、これまで雇用の場の確保を図ってきましたが、募集をしても応募がないなど、人材不足が顕著となっております。

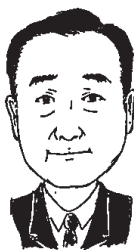
雇用創出に効果的なのは企業誘致であり、過去には

誘致活動や誘致セミナー等にも参加いたしました。本町は豪雪地帯であることなど様々な要因で条件が不利であり、人がいない場所への誘致は難しいとお話しをいただいていたところがあります。

町といたしましては、今後町ホームページやSNSなどを通じて町の魅力を発信し、移住定住を推進するとともに移住者によりよいサポートが出来るよう努力してまいりたいと考えております。

合併処理浄化槽汲み取り料を口座自動振替に

質問 藤岡議員



平成6年から、補助による合併処理浄化槽の普及が進み、町民の生活様式は格段に向上しました。この浄化槽の維持管理料である「汲み取り料」については現状では現金での支払い又は金融機関からの振込みとなっておりますことから口座自

動振替が合理的と考えますが町長の考えを伺います。

答弁 澁谷町長

農村地区の居住環境の向上対策として平成6年度から整備を進めた浄化槽の設置が現在214基の内182基が稼働しています。合併浄化槽の設置者には法律で年3回の点検と年1回の清掃や定期点検が義務付けられ、秩父別町合併処理浄化槽設置整備促進協議会で浄化槽の点検等業務の発注を取りまとめることで適正な保守管理に努めているところ。す。

汚泥を含むし尿等処理手数料は、北空知衛生センター組合の条例で汲み取りの都度、現金にて徴収すると定められ、また、汲み取り料は個人財産の維持管理に係る費用であり役場が徴収すべき公共料金ではありません。その取扱については請負業者と合併浄化槽の設置者の間で協議をしていただきたいと考えます。

令和元年度決算審査特別委員会の質疑

令和元年度一般会計及び5特別会計について、決算審査特別委員会（委員長・藤岡浩文議員、副委員長・大野敬副議長）に付託し審議しました。
各委員から町政全般、多岐にわたり多くの質疑がありましたので、その中から、いくつか紹介します。

◎ふるさと納税

問 返礼品の米とメロンはどこから仕入れているのか

答 米は北いぶき農協に出荷された秩父別産米を精米業者から仕入れています。メロンも町内で生産されたものを農協から仕入れています。

◎街路灯・防犯灯

問 農村地区では住宅が減り、不要な街路灯があるのでは

答 住宅がなくても防犯上必要な場所もあることから、町内会の要望を聞きながら検討していきます。

◎公用車

問 交通安全車が更新されているが、使用年月など更新の基準はあるのか

答 使用年月等の基準は設けていません。車検のほか12ヶ月点検や故障個所の修理を行いながら、更新を検討しています。

◎地域おこし協力隊

問 隊員募集の委託料について、採用の実績がなくても支払うのか。また、何人採用するための金額なのか

答 募集のための経費なので、採用が決まらなくても支払います。金額は2回募集を行った実績額になります。

◎特産品開発

問 特産品の開発状況について

答 お米のローション・おみくじ付ガチャ・お米のせんべいを開発しました。おみくじ付ガチャは人気

◎インバウンド事業

問 インバウンド担当職員は今後も採用するのか。また、事業の効果はどうか

答 現在3年目ですが、1年ごとに本人の意向を聞きながら契約を更新しています。昨年は67名の外国人宿泊者がありました。



◎認定こども園

問 委託料が約400万円の減となっている理由は、年度途中で退職した職員がいるためです。

◎町立診療所

問 整形外科診療の受診者数と診療所の経営状況について

答 昨年1月から12月までの受診者は延べ711人です。整形外科診療が増加傾向にあり、収益補償は昨年より減額となっています。



◎ローズガーデン

問 軽トラックの購入価格が高くないか

答 荷物の積み降ろしが多く、荷台が上がる加工をしているので通常よりも高くなっています。

問 運営、管理の状況について

答 随時4〜5名でバラの管理や草むしりを行っています。

問 売店で町特産品の取扱が少ないが

答 町の特産品を全般的に取り扱うよう早急に対処します。

◎農民協補助金

問 補助金の内容について

答 農業所得調査にかかわる補助で、税の申告に関わる業務を一元的に行っていたとき、業務の省力化に役立っています。

◎施設園芸補助金

問 補助金の内容について

答 新規作物に対して4割の補助、更新は2割の補助を行い、3年間で100万円を上限としています。新規作物の場合農協からも4割の補助が出るので最終的には2割の負担となります。